京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價（▲一枚金二錢▲一ヶ月前金三十錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵税一ヶ月十五錢）
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料（▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢）
發行兼編輯人　高木久太
印刷人　松久駒一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社　電話六六三番　振替口座京城四五六番
仁川支局　仁川宮町三丁目　電話二一一番
東京支局　東京市京橋區南佐柄木町七番地

思ひ出集

靜宇山人

◎自己の運命を開拓せむと欲せば、常に勉強して困難に打克つの決心あるを要すと共に、奮闘的生活によりて失敗又失敗に屈撓せず猛然として活動の舞臺に立たむことを期せよ、若しそれ活動の舞臺に立つに至らされば、更らに奮闘して活動の舞臺に立つ機會を捉ふることに心を傾注し此機會に接近することを誤れよ。

◎人、各々其面の異なるが如く、其思想才能亦異なれり、所謂一長一短は人として免かれざる所なり、而して人の成功を期せむとするには、宜しく自己の長所に依り其特徴を發揮せざる可からず、例へば文筆ある者は其文才を發揮し、辯舌ある者は其辯才を發揮し、實務に練達する者は其實務の才を發揮すべし、殊更に自己の性格を枉げ自己の特徴を抛棄するが如きは、例合如何なる境遇に立つも斷じて之を避けざるべからず。

◎天は自から助るものを助く、吾人が人一人として其面目を發揮せんとするには、宜しく奮闘努力して自己の運命を開拓せざる可からず、而して奮闘努力には元氣即ち一種冒すべからざる大勇氣を要す、此大勇氣ありてこそ奮闘も出來るなり、努力も出來るなり。

◎失望者は決して自から悲觀するなかれ、失望萎縮するなかれ、苟くも千挫屈せず萬折撓まざる忍耐力と、嘗つて之に打克つの奮闘力あらば、幸運は自然に其頭上に來るべし、立身出世の曙光は必らず眼前に現はれ來るや疑ひなきなり。

◎曾て、一度び相應の生活をなせしものが何故に零落せしか、或は不時の災厄に罹り、或は不幸病魔の襲ふ所となり、或は他の嫉惡讒搆に陥りたる等其原因一ならざるべしと雖も、而かも又能く吟味し來らば、自惚の増長身分不相應の驕奢を爲し、或は酒色に沈湎し金錢を浪費し、又は傲慢若くは性癖の爲め失敗せしもの少なからざるべし、此の如き連中こそ能く自から反省して其缺點と性癖とを改善すること、千金の藥を呑むよりも勝れり。

◎世間には、口の人あり、筆の人あり、口の人は須らく辯論を攻究せよ、筆の人は須らく熱心に東西古今の學問を研究せよ、而して吾人は口の人より筆の人よりも、腕の人多からんことを希望す、腕か腕か、腕か腕、腕と云ふも撃劍柔術角力等を意味するに非ず、其實に社會に立ち如何なる事業に當ても、氣充滿敏活の手腕を以て、能く働き能く事を辯するものを云ふにあるを記臆せよ。

雜報

●各道棉花栽培發展豫想

半島十道に於ける棉花栽培發展の豫想を記すれば左の如し

▲全羅北道（棉花栽培協會調査） 兩道の地質氣候は棉花の栽培に好適なり、元來棉花の發展は其價格と獎勵如何にあり棉花の價格は近來大に騰貴の傾向を示し在來棉は一斤六圓五十錢陸地棉八圓五十錢を標準として他の畑作物に比較するときは棉花栽培の方利益あり殊に陸地棉の栽培大に利益あるを以て其種子は一般に歡迎さる近き將來に於て陸地棉の栽培は三南地方のみにて少くも十五萬町歩以上の發展擴張を見るべしと信ず

▲慶尚南道（種苗場調査） 本道には陸地棉の試作と在來棉の栽培とを爲せり朝鮮人の栽培は在來棉にして其面積は現時約二千五百町歩なり、彼等農民も漸く棉花栽培の有利なるを自覺したれば此機に乘じ獎勵を爲さんには陸地、在來兩種の栽培面積一萬町歩に發展するは敢て難事にあらざるべし

▲慶尚北道（勸業模範場大邱支場調査） 本道の地質氣候は棉花の栽培に適せり、陸地棉と在來棉とを比較するに其收穫量に於ても品質に於ても繰綿歩合に於ても陸地棉優良なれば同棉の栽培は頗る有望にして將來發展の見込十分なり

▲忠清南道（道廳調査） 在來棉は陸地棉に比するときは品質劣等にして收穫量又多からず、故に陸地棉の良種栽培を可とす、然れども茲に注意すべきは陸地棉は其成熟期晩きが爲め降霜の害を被ふるの憂あるを以て本道にては全南地方の如く未だ良成績を擧ぐる事困難なるも手入作業を十分實施するに於ては相當の成績を擧げ得べきを以て本道に在ては在來種の改良を奬勵すると共に陸地棉の栽培をも奬勵しつゝあれば兩種共將來發展の見込大なるべし

文苑

●其の日／＼

杉の舎主人

二月十日
あれぬへきけふたに風も吹かすして稻の穗浪もたたぬのどけさ

滿月
何こともみちたらひたる大み代にあきのもなかの月を見るかな

小夜砧
さよきぬたもの思ひつゝうつならん絶間かちにもれとのきこゆる

南極探險
鳥たにもかよはすと云ふわたつみの南の極みあさりつくさん

●歌屑

雲遊霞宿堂主人

○やつれ髮ゆのうかる身を秋風の如何にとくらむ淡路島山
○小春日に菊の鉢をく南縁蛾がひきゆく蝶のなきから
○小春日に松の根方の蟻戰黒と赤とが亂れうつかな
若き妻岩にたゝして南山をレンスにいるゝ小春日の空

俳句

●秋季雜吟

多田千春

稻妻や耳を逃せし鐘一つ
内と外月二つあり賤が家
萩ゆら／＼夕陽斜ならんとす
霧の海流笛は長う響きけり
漁舟去つて波たゞ白し秋の海
露の戸や破鏡の果の腰ころも
上を見る慾危なけれ栗ひろひ
ほつちりと缺る虫歯や秋の風
送るゝ手燭ありや野路の虫
木綿着の人が施主なり放生會

外事一束

△露國 新内閣成るコーツォフ首相にて藏相を兼ぬ外異動なしコ氏極東に精通す對日關係従來より一層親密せん

△ス伯 伊藤公が哈爾賓の悲劇に傍師たり強壓政治家然かも露新聞其奇禍に命を損すを惜しみ反對派も同情す

△獨逸 帝國銀行利率五分に上ぐ佛の資金吸收に因す金力軍獨兵百萬に匹敵

△西班牙 同盟罷業は革命の企なる事露見し戒嚴令を布く換國食料品不足に基く貧民蜂起も軍隊繰出して戒嚴令となる歐州並米革命總罷業續出

△成都 情報に曰く匪徒城内に入らず督府倉庫を開き食品を賑し外人避難不安

△愛蘭 鐵道従業者の同盟罷工を止めされば全部罷業すと今次の事は鐵道會社無關係の事に因し明に罷業の危險とを帶び來れり政府は軍隊を使用す

◎新刊紹介

●東京經濟雜誌 依例有益にして參考に資すべき文字多し『憲法は年度制なる繼續費を認めず』『株式相場の觀察』『金融有價證券市況』等は大に讀むべく紀傳には『鼎軒先生傳』の續き『塙先生傳』等あり（一部十二錢東京々橋區彌左門町東京經濟雜誌社）

●日鮮實業界 日韓併合一週年紀念號として發行せるもの寺内の『合邦二週年の際して感想を述ぶ』芳賀博士の『併合前後の朝鮮に於ける教育界』等外名士の論文を掲ぐ依例燦氣藹々賑やかな編輯振りなり（一部十五錢東京赤坂區溜池町日鮮實業界社）

●青年の友 稲本日南の『現代青年に對する希望』兒玉氏の『青年の腦力經濟法』等は世の一般の人の大に味ふべき文字なり（一部六錢東京本郷區東片町新公論社）

●職業世界 職業案内の機關なり編輯の休裁聊か整はざるも要するに求職者に取りては一大福音たるを失はず（一部三錢東京々橋區疊町東京模範紹介所）

召使お初

第百五十一回

黑法師

『私見るやうな不束兒、力に思ふとの御一言、お情身に餘つてござりますに、殊に肉身の姉とも思ひ、前途の幸福を祈るとのお詞、勿体ないがお嬉しう存じますする、お氣遣ひ遊ばしますな私お側に付き添ふから、他人に後指はさゝせませぬ」

お察の顔は一はいの涙なりき　目も眉も口も鼻も、涙の中に漂ひありき、お道は沈と見遣りながら

「力と恃むはうなたばかりぢや、途中氣を付け、御兵衞どの方へ參らば、皆様へよきやうに傳へたもるぢや、云ふことは是だけ、時後れては詮もない、御門限に後れぬやう、歸途は道を急いでの」

「心得てござります、一時の間に歸ります、御病氣をお厭ひなされませ」

「そなたも身体厭ふちやよ」と云ひ切りて脇息引き寄せ、うの上へ俯伏して心の嘆きを切る、お察は幾度も暇乞ひ又しても後髮牽かるゝを心強く振り切つて『さらば行て參ります、今の間に歸ります』と襖閉て切り立ち出でたるが、それにても御心許なく思ふ處やありけん、お庭草履を穿く間さへもどかしく、奥庭に鎮座あらする奥殿守護の八幡社へ駈け付けて、玉垣の苔の前に額を埋め

『お道さまお召使察でござります、旦那様の仰せ是非もなく、今から飯倉まで參ります、私歸つて參るまで、旦那様のお身の上お守護下さりませ、旦那様のお身に何事の變もないやう、きつと御守護下さりませ』と繰り返し／＼丹誠を抽でる空はどんより曇りたれど若葉の緑匂ひ潤く、お察忠義の眞心に感と來る

『旦那様御病氣、萬一の事でござりませぬやう、一圖にお願ひ申しまする、旦那様の命を犠牲にさし上げます、お幸福髮を重にも願ひ上げまする』

これに少しく沈着きて、お察はやがて神前を退きたり、蟬時雨、南の風、御歌合は今半ぞ見ゆて、うれかぞ思ふ奥の坐敷に、頽れる如き笑ひ聲長閑に聞こゆ、お察は勝を斷つ思ひなりき、再び廊下へ立ち戻りお居間の外より、旦那様御機嫌の脇箱の文箱を小腋にして、子はど見入りたれど、襖髮重を隔ちたれば、姿を拜まんやうも無し何事を捨て置きても、さし當るは大切なお使ひてゝにうろ／＼躊躇ある間、つい往て還らるゝなど、思ひ返して驅け出づる、

お切手門の内に佇みて、三人寄れば姦しき他人の噂、ようよう聞こゆるはどの徴聲にて、お歌合お席にての有様目前に見る如く語り居るはお犬小供のひさなりき、お察は聞き捨てならぬまゝ袖垣の蔭に潛れ假したお使ひには後るゝとも、旦那様お名も聞こゆる、一伍一什聞かねばなるまじ

平生より口數少きお方、うれと打出して仰せは無けれど、お退の早さお顔の色の惡さ、何さま仔細無くては協はじ、お犬小供はお年寄衆御用を勤めてお三の間まで參らるゝおひさどの物語で旦那様様子知れたらこれに越した歎び無し

彼女は息を屏めて聞く

「眞に／＼、今日といふ今日、お宮仕への苦さが知れてござります」とおひさは涙さへ浮べ「皆様お聞きござりまする、中年寄お道様、相生様お口に掛つて、それは／＼甚い恥辱をお掻きなされてござります」

京城新報

商工調査會を奬む

吾人は去る七月二十八日の本紙上に『商業會議所の根本的組織改正』と題し、單り京城に止まらず凡ての商業會議所の振はざると、一般商工業者が之れを自己の機關として重要視せざるものあるは、會議所の組織が時勢に伴はずして、唯形式にのみ拘泥するに因るが爲なりと斷じ、其刷新策として現今の佛國式組織を英國流の會員組織に改善するの可なるを提唱し。且つ京城の如き、商工業者が各々業体によつて同業組合を組織し、同業者の親睦を圖ると共に業務の進展を講じ、組合の鞏固を期するの手段として各自醵金をなして基本金を積立てをるに關はらず、一方商業會議所經費の賦課を喜ばざる商工業者の多く現はるゝは、畢竟會議所の組織不完全なるがために、商工業者の直接利害を感受せしむること能はざるの反響なれば、京城の識者は卒先して會議所の根本的組織改正策を研究して範を他に垂れんことを切論せしが、其後京城商業會議所の當局者は、市內各商工業組合の代表者と再三會合し、相互提携して會議所の機能發揮に努めんことを諮議せし結果、過般の會議所議員臨時總會に於いて、會議所商工調査會設置の事は滿場一致を以て可決せられ、會議所は直ちに調査會の規定に基き各商工業者組合の代表者及び組合未成立の商工業者中の雄なる者を網羅して商工調査員を囑托し。此等調査員は毎月一回會議所に集會し、會議所議員と共に、一般商工業の發展に資する目的を以て諸種の研究調査をなし、時宜により當局官憲其他關係者の臨席を求むることある可しと。吾人が會議所改善の議を唱道して間もなく、會議所當局者が各商工業組合と連絡を執るの必要なるに着眼し、終に上述の如く商工調査會の成立を見るに到りしは吾人の頗る快とする所なり。而かも之に依つて商工業者は始めて會議所の機能を實際に認め、從つて會議所の活動期して待つ可く、從來拔く能はざりし課金滯納の弊も自然除去せらるべし。殊に議員の外商工業者をして會議所運用上當面の責任を分擔せしめたるは、蓋し英國流の會員組織に進まんとする一階梯なるを認めざるを得ず。之を以て吾人は商工調査會が健全なる發達を遂げ、政府をして商工業者の輿論を知らんが爲には商業會議所を尊重せざる可からずとの威念を常に抱かしむることに努めんことを切望すると同時に各地の會議所に向つても亦京城に倣ひて商工調査會を設け會議所の基礎を鞏固にせんことを奬めんと欲す。

東京電報

利權回收の訓電

淸國政府は露淸條約改正委員に對し利權回收方の訓電を發せり

安奉線の開通式

安奉線の開通式は來る十一月三日の天長節に擧行する事に決定せり

日淸直通交涉

安奉線開通と共に日淸間旅客直通に關し交涉を開始せり

▲滿鮮聯絡協議

三本朝鮮鐵道營業課長は過日來上京し鐵道院木下營業課長と會見し種々協議し居れるが右は來る十一月全通する安奉線の營業開始後に於ける輸送計畫にして其內容は現在隔日午前出帆せる關釜連絡船も連日運航に改め晝夜間の兩便を下關釜山の双方より發航せしめ以て內地朝鮮間の交通を密接ならしめ一方朝鮮鐵道運轉時刻を改正し安奉線列車に接續せしむると同時に釜山奉天間に直通列車の運轉を爲し內地より朝鮮を經由して滿洲に達する直通乘券を發賣し貨物に在ても兩地間の運輸を便ならしむる計畫なりと云ふ

▲郵便官署附帶事業

郵便官署をして農工銀行の低利資金貸附事業を爲さしむる事並に特種銀行の發行に係る債權募集及償還事業を取扱はしむる件は法制局にて審議中なるが不日勅令を公布する事に決定せりと

▲四川暴動と警戒

一時猖獗を極めたる四川省成都の暴動は其後鎭靜に歸したれども附近の各地は今尙不穩の狀勢にあるを以て兼て重慶に滯泊中なる英米獨等の砲艦が此際警戒を解かざる限り我第三艦隊隅田も宜昌より重慶間を航行し當分の內警戒の任務に當る可く伏見も亦漸次九江發溯航を繼續す可しといふ

▲鹿兒島縣下水害後報

鹿兒島縣下に於ける二十二日の暴風雨被害は取調判明したるもの壓死者十二名負傷者十名行衛不明三十名牛馬の死五十九家屋壞倒小學校一神社一住家百七十九棟其他百四十二破損家屋住家七百三十棟其他七十二橋梁の破損流失其他百四十四

▲犯人引渡條約

本邦と締盟列國との間に犯人引渡條約を締結するの必要ありて既に對案を提示したる可國は英佛獨白丁和等なるが內英國とは殖民地の關係上成る可く速に締結するの必要ある爲め兼て交涉の結果相互の主旨に於ては既に一致し居れば近日交涉終了するに至る可し次で其の他の各國とも同樣の交涉を開始するに至る可し

▲大久保大將參內 大久保大將は廿五日參內し御座所に於て拜謁仰付けられ朝鮮軍司令官在職中の軍狀に關し奏上ありたり

▲大藏證券借換 二十五日償還期限に達する大藏省證券二千萬圓に利率五毛上げ一錢三厘にて償還期限は十二月十一日とし全部借換ふる事に決定したり

▲墨國の輸入禁止 墨西哥國に於ては向ふ六ケ月間通常及小包郵便に依り各種の軍器及軍需品を輸入する事を許さざる旨我政府に通牒ありたり

▲小松次官快方 其後小松次官の容態は愈良好に赴き食慾益々增進し二十四日侍醫の診斷に依れば体溫三十六度九分脈搏六十六呼吸二十四最早や大勢は警戒を解くに至れり

▲二勅令公布 二十五日の官報を以て市町村吏員の損害賠償に關する件及市制第百七十三條の市に於ける區の組織に關する件の二勅令公布さる

▲戰役統計委員 陸軍少將岡市之助氏は明治三十七八年戰役統計編纂委員仰付らる

▲スト伯狙擊者處刑 ストリピン伯を狙擊したる犯人は死刑宣告ありたり

雜錄

●總督歸任期定

寺內總督は愈々來月五日東京出發來鮮せらるゝことに決定し其旨總督府に宛て內報ありたり

●軍司令官出張

軍司令官上田中將は岡本軍參謀、竹內、中村副官、黑沼主計正等を從へ二十五日午前十分南大門發の列車にて西鮮の守備隊檢閱の爲め出發したり

●京元線一部開通

朝鮮總督府は來る十月十五日より京元線龍山議政府間鐵道運輸營業を開始し倉洞停車場に於ては大小荷物の取扱を爲すの旨告示せり尙哩程は左の如し

龍山纛島間	六哩四分
纛島淸凉里間	一哩四分
淸凉里倉洞間	五哩七分
倉洞議政府間	五哩九分

●各國人別鑛業

總督府最近調査に依る各道に於ける鑛業、砂鑛の內外人別許可數を聞くに鑛業許可數六百一件砂鑛三百六十三件なるが各道中最も多きは平安北道の鑛業百七十六件砂鑛四十七件にして最も尠きは全羅南道にして鑛業は七件砂鑛六件なるがこれを各國人別に記せば左の如し

內地人	鑛業	三百五十件
	砂鑛	百二十七件
朝鮮人	同	百八十六件
	同	二〇一件
內地人及朝鮮人共同	同	二十四件
	同	二十八件
英國人	同	二十四件
	同	二十八件
米國人	同	十八件
	同	三件
日本人共同	同	一件
	同	なし

其の他獨逸人の鑛業七件佛國人の鑛業三件砂鑛一件鮮米人共同鑛業一件等なりと

●本年度中開通の鐵道

目下各方面に亘りて進捗中なる鐵道工事に就き本年度中に開通すべき豫定線路を聞くに京元線は別項の如く龍山より議政府迄來る十五日一般運輸の開業を爲し本年度末には漣川(四十二哩まで)開通の筈にて三南線は既に連山(大田より二十五哩まで)開業し本年度末には江景(大田より三十七哩まで)開通すべく群山へは建築列車を通ずる筈にて裡里より群山迄十四哩四分の一なれば三南線は本年度中に六十八哩七分五厘の開通を見る譯なりと

●官立學校長特別任用

總督府諸官立學校長特別任用令は豫て法制局に於て審査中なりしが右審査を終へ最近日樞密院會議に於て可決したれば近日勅令を以て發布さるべしと云ふ

●ジョルダン博士

ジョルダン博士夫妻は來る二十八日釜山着同地一泊の上二十九日夜南大門驛着入京當地に二三日滯在し水產漁業の狀況を視察しそれより平壤及鎭南浦等に赴き約一週間の豫定にて視察する由其筋に通報ありたり

●水產參考資料整理

農商工部にては別記の如くジョルダン氏來鮮に付目下右參考資料に供せん爲め水產漁業に關する調査整理中なりと云ふ

●京城府民會解散

自治機關の消滅に非ず! 別項所報の如く京城府民會は二十四日午後一時奬忠壇に於て解散式を擧げ爰に全く同會は消滅せしが右解散に就き二十三日の京城日報は『朝鮮側の自治制度愈々無くなる』といふ標題の下に府民會の沿革及其の他に就き詳細記述せる文字の中其の末項に於て『今春新たに府制發布せらるゝて府民會存在の餘地なく愈々解散に決し之れにて朝鮮側の自治制度は全然無くなつて了つたのだ』と記しあり這は實に謂れなき事にて其の妄誕無稽も亦甚だしといはざるべからず由來同會設立の趣旨は遠く高麗朝時代の自治制に倣はんとせしや否やは前個の問題として兎も角も民間に於ける公共事業に盡瘁し各人相互の利益を圖り兼ねて內外の聯絡を計らんため設立されたるものにて其の効績の見るべきものありたることは稍や京日紙の言ふ所の如しされど同會は自治の機關たる權能と實體とを有せず從つて事實に現はれたる自治の効果としては何物もなく唯單に內地觀光團の接待諸種の調査等を爲すに過ぎず經費の如きも全然他よりの借款にて到底永續は覺束なく何れは早晚自滅すべき機會に到着せざるべからざるの運命を有することたるは言ふ迄もなきところなり然るに京日紙は同會を目して朝鮮側の自治機關となし同會の解散を以て自治制度の消滅となす其の愚見も亦甚しからずや而も尙京日紙は前記の如く今春の府制發布を口にす苟も府制發布を口にする以上は今春京畿道令に依りて部面の區域定められ同時に五部(東西南北中)八面(龍山西江崇信豆毛仁昌恩平延禧漢芝)の制の設けられたるを知らざる理なし而して此機關が一面に於て下級行政補助機關たると同時に他面に於ては自治の機關を以て自ら任じ將來鮮人側の自治行政の爲めに大に貢獻寄與すべき責務を有するものたるも知らざるべからざるの道理なし現に府民會長たる趙重應子は過般五部聯合會を訪ひ當局の一人に語つて曰く「五部聯合會は鮮人側に於ける自治機關として模範を示すものなり予は聯合會の設立を衷心より賛す」と思ふに京日子は五部聯合會設立の精神を知らず兼ねて貴族としての趙重應子の言をも聞かざりしならん乎世人を惑はす蓋し鮮少に非ざるべしと當局の一人は語れり

●朝鮮醫學會京城支會

京龍間在住の醫師を以て組織せる朝鮮醫學會京城支會は廿四日の日曜を以て總督府醫院講堂に於て其發會式を兼ね第一例會を開催せり森安會長代理發會の辭を述べ亞て會則の討議に移り滿場一致原案を可決し幹に荒井元、高井貞治、長谷川與一郎、土橋末雄の四氏を擧け引續き左記十數題の有益なる學術的講演並に討論あり會するもの山根正次氏を始め數十名にして卒業期に達せる醫學生の傍聽あり日沒に至て閉會せり尙次會は十一月第三日曜日なりと

稀有なる特候素質に就て第二報告及クレオソート用法(康秉鉉)一マラリヤトサルバルサン(嶺峻)一林川に於ける肺ヂストマの調査報告(岡田宗次郎)一結節性毛髮斷裂症アイザール液の應用治驗(池田季雄)一スピロヘーテパソーダの砂間染色法(荒井元)一外傷に因する臟器傷害に就ての實驗附標本供覽(石田誠一)一腸窒扶斯の經過後に長く潛伏せる筋炎に就て(土橋末雄)一演題未定(岩淵友治)一網膜膠腫(宇野功一)一腸間膜腫瘍の一例(阪田淸造)一白血病(森安連吉)

●八月中の京城移出入品概況

八月中に於ける京城稅關出張所の貿易概況は前月に比し輸移出入共何れも多く即ち輸移出に於ては牛皮千五百五十七圓其の他の諸品千百六十六圓合計二千七百二十三圓の增加を示し輸移入に於ては小麥粉四千五百四十五圓鹹魚二百十圓鑵詰及鑵詰食物千四百六十八圓淸酒百十圓蠟燭二百九十圓繰綿及打綿二千八百六十六圓綿織糸一萬三千九百十一圓生金巾及生シーチング十一萬千二百十八圓晒金巾及晒シーチング六千百五十圓綿繻子及綿イタリアンス四百七圓日本綿九百六十圓毛織物五千八百六十八圓絹布六千七百七圓交織布千七百二圓紙三百三十圓鐵釘三十一圓鐵鍋釜百四十圓諸器械類百八十八圓木材及板五十二圓叺、繩、莚百六十二圓家具三百三十八圓燐寸千三百八十二圓洋傘二百三十九圓其の他の諸品七千四百三十九圓合計十一萬九千百九十九圓の增加を見たり中には減少のものあり!尙八月中に於ける輸移出高は九千五百三十九圓にして輸移入高は六十三万六千九百七十五圓なりといふ

●取引所運動經過

第一回相談會の際創立委員選定の事を決議したるが其後該委員は左記の十五氏に決し內曾我勉、小林藤右衛門、深水淸、梶原正太郎、釘本藤次郎の五氏を常務として目下總督府への出願書起草中なるが出願書には廣く內外の大勢より日鮮間の取引の實際及朝鮮產業の發達京城の經濟的位置等を詳細に縷述して取引所設置の必要なる所以を明にすべしと謂ふ猶出願書提出の前に今一回相談會を開き願書署名人を定むる筈なりと

大村保太、池田長兵衛、小林藤右衛門、曾我勉、深水淸、前田熊一、古城龜之助、進辰馬、大橋正三郎、衆古禮藏、梶原正太郎、釘本藤次郎、白允基、白完赫、趙鎭泰

●府民會解散式

京城府民會解散式は豫定の如く二十四日午後一時より奬忠壇に於て擧行されたり會長趙子爵解散の式辭を述べ坊長及功勞者に賞金及銀盃を授與し府民會の萬歲を三唱し終つて立食の饗應あり午後三時散會したり當日の出席者は李完用伯、朴齊純子、明石司令官其他日鮮官民新聞記者二百餘名なりき

●府郡書記講習會

元度支部廳舍にて開催の府郡書記講習會は終了し本日卒業證書授與式を擧行宇佐美內務部長官小原地方局長澤田書記官其の他各講師列席宇佐美長官より一々卒業證書を授けられたり

●尹雄烈男逝去

男爵尹雄烈氏は豫て胃癌に罹り療養中の處藥石其効を奏せず二十二日午後六時西大門外の自宅に於て溘焉として逝去せり享年七十有二何れ詳細の經歷は次號の紙上に揭記すべし

●三宅博士の出發 目下滯在中の三宅理學博士は二十五日午後九時南大門發歸東す

●關繁太郎氏の歸邸 昨冬來重痾に罹り其後療養の爲め內地へ赴き居たる同氏は此程全癒數日前無事歸邸したり

●小田柿捨次郎氏轉任 元當地三井物產出張所長にして其後本店營業部長たりし同氏は今回同社小樽支店長に轉任したり

●內山守太郎氏 當地長谷川町朝鮮興信所長の同氏は都合により今回同所長を退任したり

●帝國興信所長入京 東京の帝國興信所長後藤武夫氏は二十四日入京巴城館に投宿す

●木尾辯護士の歸京 東上中の木尾辯護士は二十四日夜歸京從前の通法律事務に從事す

●大朝特派員更代 當地大阪朝日新聞特派員岡野養之介氏は近々本社詰となり後任者として荒木貞雄氏十月中旬來任する由なり

●米澤牧師轉任送別會 當地組合基督教會牧師米澤尙三氏は今回同教會を辭し神戶組合の教會に就任の事と決し二十六日午前九時發にて赴任の途に就く筈なるを以て同教會にては去二十四日會員約一百名會合嚴肅にして且盛なる送別會を開きたり尙氏の後任決定するまで渡瀨朝鮮傳道主任兼務すべし

●砲兵中隊の演習 野戰砲兵第二聯隊第六中隊は二十五日午前十時より午後二時迄で東大門外の淸凉里附近に於て空砲發火演習を行ふ

●文廟の秋祭執行 二十三日午後八時より經學院に於て文廟の秋季大祭を擧行し參列者は各貴族及儒生等多數にて總督府よりは山縣政務總監、宇佐美長官參列す

●朝鮮銀行券發行高週報 九月十七日より二十三日に至るもの左の如し

發行平均高	二六、一九九、四八六
內正貨準備平均高	九、二一六、七〇四
保證準備平均高	一六、九八二、七八二

來人私人

▲本田幸內(勸業模範場長)二十三日水原行
▲前田榮一(馬山民長)二十三日釜山行
▲岩瀨靜(大邱會頭)二十三日大大邱行
▲富家正義(參政課技師)二十三日原金旅館へ
▲河合鈲太郎(農科大學教授林學博士)二十三日天眞樓へ
▲牧山耕藏(日本電報)二十四日歸京
▲田中遷(黃海道內務部長)二十四日浦尾旅館へ
▲中井錦太郎(製粉會社取締役)二十四日浦尾旅館へ
▲後藤武夫(帝國興信所長)二十四日巴城館へ
▲大準誠吉(技師)二十四日平壤行
▲爾地信世(工學士)二十四日義州行
▲長野武一(醫師)二十四日山木旅館へ
▲北尾榮太郎(農業會社取締役)二十四日山本旅館へ
▲小野純一(慈惠病院長二等軍醫正)二十三日義州行
▲野地治衛(步兵中尉)二十三日安東縣行
▲熊野又吉(步兵少尉)二十三日安東縣行

▲京城手形交換高▼

	金高	枚數
九月廿五日	一六三〇、六六〇、二一〇	五二六

▲治外法權▼

四川の暴動は案外に大きい、彼の長髮賊の亂の如くならねば良いがとは、某支那通の話し▲西班牙の內亂、之亦た案外に大きく、ドーヤラ憲法中止まで行つたようだ、サア支那と云ひ、西班牙と云ひ、此飛行機の時代に、時世後れの內亂に苦しみ居るとは氣の毒な話、ソレにしても半島が帝國に合併して內亂跡を絕つに到つたのは鮮人にとり幸福な事だ▲京城府民會が解散式を擧げた、トコロで御用紙は同會の解散を以て鮮人側自治體の終焉の如く報道したが、コリ飛んでもない大間違だ▲記者の知れるところに因れば、從來の京城府民會は下級行政機關の色彩を帶びた一の社會的私立團體であつて決して行政上の自治機關ではなかつた▲ソコで先達て府民會が解散されると、其後へ五部聯合會が出來た、而して此聯合會こそ、純然たる下級行政機關で、ドーかと云へば之こそ鮮人側に出來た始めての自治機關だ▲コー云ふ譯で今度始めて鮮人側に模範自治機關とも云ふべき五部聯合會が出來たのに、御用紙が府民會の解散を目して鮮人自治体の終焉だと云つたのは大間違だ▲日韓瓦斯電氣株式會社の總會が、上半期の配當に、七分五厘を可決したるは、表面結構の樣ではあるが、實は今後同社營業の發展に妨害をしまいか▲見玉へ電燈料の値下げが眼前に迫つて居る今日、株主等が配當の多からん事をのみ望むで居る樣では迚も法が付かぬ、ソレに岡崎專務が總會に於て增資後も七分五厘の配當を誓つたとは何たることか▲浪花節語つて曰く、「人間の手で出來た事で人間の手で治まらぬ事は無い、山ヨリ大きな野猪は出ぬ」と至言至言。

●町内 口入屋の卅分(四) 白面子

興に乘つた女將の舌の廻轉は滑かだ、此の位翹れば飛行器の推進機にでも成るだらうと感心に及んで話を見て居る『棄てる神あれば助ける神あり』とはよく云つたもので其當時恰度公州から藝妓が欲しいと云つて來て居たので瀧子さんとの相談が纏まつたから諸所の借金は皆三分一位に減けて貰つて前借金で支拂をして公州へ住替へました、尤も此の前借は普通のと違つて年期なんてものはない稼いだらく〳〵と傍から傍から拂つて行けば宜いのです、一寸日掛金と云つた形ですね衣類が自分持の稼高は叩分けと云ふ約束でしたそして彼れ此れモハヤ七日も經過てから來た手紙には御蔭さまで借金の内が十圓程脱けたと書いて有りましたがツイ先日來た三度目の手紙には十五日程で五十餘圓も借金が脱げたと云つて來ましたよ……田舍は景氣が好いんですと見へます』正直者だと思つた女將も稼業にかけては瀾吏の馬鹿正直でない『其の瀧子と云ふ女は私も知つて居るが來て居る手紙を見せて下さらんか』と少し甘く出掛けるとそれ『安い御用ですが所天が鞄に入れて居りますので……』と巧に摺抜けられた、愈以て此の女將平凡でない哩『而で話は變りますが一つ同縣人の情誼で僕に相應した鳴を周旋して貰ひ度が、併し此れは急いた話ではないとして此所に私は或人から……外國人です……妾を一人賴まれてるんですが有りますまいか』と譯も無らぬ事を出任せに叩つける『私ん所では其の方の經驗がありません、今年の四月陸軍の○○大尉から月三十枚位で適當なのを世話して來れ心掛次第に依つては本妻にしてもよいとの事でしたが幸に持つて來いの女が有たので持込みましたが二三日遲れでモウ他の口入屋さんから世話した跡でしたので殘念しました、夫れから妻君として憲兵の○○さんに母親附きのを世話しましたが現に圓く暮して居られます、貴君の奧さん[illegible]ましよう」と云ふ、豈に圖らんや我輩には[illegible]ある子も[illegible]併し極上等のが有つたら取り換へようかとも思つて見る『時に周旋料は』と訊く『拋主から五歩、妓輩さんの方から三歩取ります、下女は一圓宛になつて居ります』『妾や妻君のは』と透さず突つ込む『夫れは先方樣の思召し次第です』話は猶も遂行すべきを折も折り近隣の女髪結處大阪屋に京城樓の喜代子、第一樓の若駒清月樓の鹿の子なんどの面々が、ノンく〳〵ズイ〳〵乘込み來る、夫れが又申合はした如に、丸屋の店頭を覗いて不思議相な顔をして『ヘエ今日は』と挨拶する愚圖々々して居る譯にも行かぬから明日玉を伴れて來ますから何分」と挨拶ソコ〳〵に横飛に飛出した(つゞく)

●嗚呼 堀力太郎

▽父の顔に泥を塗る

仁川屈指の金滿家堀力太郎を相手取り仁川宮町三丁目佐藤敬雄(三八)長男久雄(八)は物品及家屋返還遺産分配家賃並に利息請求[illegible]二萬六千五百六十五圓四十一錢取戻請求の訴訟を京城地方裁判所仁川支部に提起したり原告久雄は未だ漸く八歳の小供にして父敬雄の手に教養を受けつゝあるものなるが敬雄は被告力太郎の爲に多年苦められたるのみか亡母まつの遺産なる前記の物件を横領せられ赤貧洗ふが如き境涯に陷り加ふるに父敬雄は時脚氣病に罹り病床に呻吟し旦暮米鹽の資に窮するの悲慘なる狀態にありしために今次の訴訟費用も負擔不可能なるを以て其筋にては稀に見るの特典救助の申請を容れられたれば近く公正なる判決を見るべし此れが勝敗に付ては元より今日に於て豫め斷ずるを得ざるも堀家の先代久太郎の渡鮮致富の因より今回訴訟沙汰を見るに至りたる顚末を報道し此の疑問を解くに資す

▲力太郎の豪奢 現に仁川寺町の大通りの洋館造りの大厦を構へ道行く人の目を欹たしむる豪奢の生活をなせる彼れ堀力太郎は支那町に營業所を有し日本郵船會社仁川代理店をなし居れるが彼れが今の富は如何にして積みなされたるか又現に運用しつゝある資産は如何にして作られしか之れ實に亡父久太郎が小說以上の辛酸を嘗めて貯へ成したるものなるが多くの成功者が有する如く彼も又奮鬪時代に一人の忘る可らざる大恩人を有せりき、然るに父殁して後の力太郎は其恩人を忘れ骨肉の觀をさへ疎んじ自己のみ榮耀榮華を極め居るなり

▲一袋の麥粉 一代にして加かも赤手彼の富を作りなしたる亡父久太郎は長崎縣に生れたるが天か命か時彼れ幸ならざること多年、故郷にも身を容るゝの地なくて釜山に渡來せしも此所も又彼れに幸なく如何とも詮術盡きたる明治十六年仁川開港の報は如何に彼れの耳に響きたりけん雄心勃々たる彼れ久太郎は奮然として孤身空拳を提げて起つた、高成らざれば骨を荒原に曝さんのみと帑束の如き着衣一枚を身に纏ひ遂々然として仁川に着したる時の彼が窮乏を見るに見兼ね且つは必ず爲すあるの青年なりと見込みて貿易商の某が麥粉一袋を貸與し以て自活の途を拓けと激勵したり(つゞく)

●强盜か放火か失火か

▽竹園町の殺人事件後聞

既報竹園町三丁目高利貸小栗榮吉妻いと(三四)が殺害せられたる事件は强盜殺人放火の三罪の如くなり居る事とて當局者は該犯人搜査の手配に苦心しつゝありて警務總監部よりは玄角保安課長司法主任安藤警視は毎日早朝より銅峴分署に出張し各刑事を督勵しつゝあり而して犯人が日本人なるや鮮人なるや又放火なるや失火なるや及强盜なるや等も各刑事の觀察は異なり疑問となり居る模樣なるが鮮人に重きを置くと見へ目下朝鮮人四名を嫌疑者として拘禁しつゝあるが其の證跡は遂る處なきが如し又日本人に重きを置く刑事にしては新町中の新地桃山等の遊廓に注意しつゝありて遊客に不安の念を懷かしむる事ありと我社が探知する處に因れば强奪せられし品の金品は被害者が生前所夫榮吉が詐欺横領事件に依り其筋へ拘引せらるゝと同時に相手人よりの强制執行を免れん爲め他に隱匿なし自宅には日用品のみを置き居たるなりと

●轢死の身元判明

▽思ひ極めし死出の旅

二十二日龍山元町四丁目鐵道線路カード附近に於て轢死を遂げたる本婦人ありたる事は其節報道せる處なるが其の後探聞する所によれば右婦人は京城本町五丁目四十七番戶毛織物商木村勘造の雇人山口縣佐波郡中關村字新前町茂吉妹の岩國なつ(二八)たる事判明せり同人は本月三日國元より渡鮮して前記木村方の下女奉公に住み込みたるも豫て國元に於て男と關係あり其爲め何か紛紜を來たし女氣の之を苦にし小さき胸の悶を懷きて遂に自殺に及びしものゝ如しと

●人妻の毒藥自殺

▽原因は精神異狀か

福岡縣人當時旭町三丁目土木請負業小川勝藏妻とめ(三〇)は二十四日自宅に於て毒藥を仰ぎ自殺を遂げたるが當日午後五時二十分壽町一丁目九十四番戶同業川村信市なる者小川方を訪問したるに自殺者なる内儀れとめが椽側に於て黃色の唾液を吐き苦悶の狀態に陷入り居るを認め吃驚して警察に急報し一方醫士を招ぎて應急手當を爲したるも遂に其の効なく絕息したるものゝ由なるが原因は豫て嫉妬の念深くヒステリーを起し居たりと云へば精神に異狀を生じ毒藥を服用し自殺したるものなりと

●不埒なる主人と女房

原籍大阪市南區高津町六番町七番地當時仁川新町二丁目三番地鉞力細工職木村常次郎(五〇)は嘗て原籍地に於て金銀細工を營み居たる中京都市生れの大角繁三郎及繁三郎の妻ひさ(三五)二人を雇入れ中之れと通じ本年四月渡鮮の際解雇したる後も其色香を忘れ兼ね本夫に秘密に呼寄せ京町二丁目に匿ひ置きて不義の快樂に耽り居たるを本夫が之れと知りて其筋に告訴を提起しあるより姦夫姦婦は二十四日檢事局に送らる

●彼岸の中日

二十四日は秋季皇靈祭日にして即ち彼岸の中日なりければ各寺院にては夫れ〳〵法要執行あり參詣の善男善女法話說教に心耳を澄したるも多く中には此の休日を利用して茸狩、栗拾ひの消遊に一家の平和を增したる向も殊に多かりき「茸狩や炊事は亂の旦那殿」(△生)

●尻代一つが十錢

御成町井上樋太郎方兵庫縣人上垣種治(三六)同居愛媛縣人今城重助(三四)西部社稷洞五十一統一戶金明性(三五)の三名は二十三日午後三時上垣方に於て賭博の現場を南部署に檢擧され今城上垣は各科料金五圓に金明性は笞五十に處せらる

●浮浪人の窃盜罪

山口縣阿武郡萩町字濱崎二九七五番地當時住所不定齋藤孫助(二八)は一定の住所職業なく諸所を徘徊せしより浮浪罪として西部署に於て拘留七日に處せられ窃盜の余罪ありて取調中

●古刀一本で笞八十

南部叔門內五千契十八統九戶居住吳昌根(二八)が田舍に於て强盜罪を犯し居る風說を聞知したる南部署刑事が本署に引致家宅を搜索したるに古刀一本所持し居たるより嚴重取調べたるも强盜犯は證據不充分に付古刀所持の點に付警察犯處罰令違反として笞刑八十に處せらる

●演藝だより

▲浪花館 吉川今勝一行は二十四日夜より更らに浪花光廣をモタレに、吉田勝丸の二名を加へたり 水戶黃門記(吉田勝丸)義士傳(吉川孤舟)慶安太平記(廣澤樂圓)貞女鑑(浪花光廣)三島孝太郎、紀尾井坂爆烈彈(吉川今勝)

▲歌舞伎座 四十二年六月現李王及妃殿下臺覽の榮を賜はりたる東洋一エムパテー活動寫眞會社は再渡來二十六日より初日開演すべく重なる映畫左の如し

漣山人作「お伽話鬼の宿」伊井蓉峰一座大悲劇「一陽來復」高田實一座「女心」「英佛海峽横斷空中飛行機」川上音二郎出演「雲間の月」「十八嶋返し」市川八百藏一座出演「滑水一角」常盤津長唄新內出語囃子鳴物雜色入り

●二十四日夜の浪花館 鋒良狭衣

二十四日の夜彩霞香雲樓主人に依つて評し盡されたる吉川いい今勝一座を聽く、入分からの入だ、同夜からモタレに浪花光廣を加へたと云ふ、吉田勝丸(新加入)吉川孤舟の二人は聽かず樂圓の「慶安太平記」大車輪の長講聽き堪ねておりたり寢に取りかゝつたら何日もアノ調子で油斷せざれば例令少々拙くとも聽れるものだ、況して拙からざる樂圓なり强勉は双方の利益、次は光廣相變らず巧いものなりさりながら讀み物の「貞女鑑」は古い、吉川今勝の「三島孝太郎」「紀尾井坂爆烈彈」の二席、チャリの入塲も自然にしてワザとらしからず聽衆を極めて輕妙、年を經て將に圓熟の域に入らんとして居る旃を勉めて倦まざらんことを希望する、彼れは雨三日中に一席だけ義士傳を讀まして貰はうと云つて居る果して彼れは明治物の如く義士傳に依つても吾人に多大の興趣を與へるであらうか疑なきを得ずだ、幷は兎まれ彼が從の横顏は著しく今村署長に似て居る、序を以て聽客側に注文がある、二階に居て煙草に火のついたまゝを欄干以外に突き出さぬこと、讀切にならない内からザワ〳〵と席を立たざる事等は最も注意せられたい、敢て浪花館に就いて申すのではない、前者は共同生存上に危險を感ずる、後者は演者、聽者双方最初の目的に背反して興趣を殺ぎ不快を感ぜしむる事一通りでないからだ

父 男爵 尹雄烈 病氣ノ處藥石無效九月二十一日午後六時遂ニ永眠仕候間此段生前辱知諸賢ニ謹告仕候
追テ葬儀ハ來ル二十九日午前八時西大門內貞洞禮拜堂ニ於テ新式ニテ執行同日午前十時南大門驛發列車ニテ溫陽ノ墓地ニ向ヒ三十日正午下棺式ヲ執行可仕候

嗣子 尹致昊
子 尹致旺
子 尹致昌
侄 同 致昨
同 致昭
同 致昶
同 致晒
同 致明
同 致暎

●諸公債諸株券 現物賣買

京城本町三丁目

春田目藥

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九百四番千六十八 振替口座京城 十六番

くだり病一切の特効藥

健胃固腸丸

●赤痢病●コレラ病●腸胃加答兒等に用ひて實効迅速なり
●常に時々置き朝夕五粒ヅヽ服用せば腸胃の衆病を治し食物の消化を助くす

藥價 貳拾八粒入 五錢　四十五粒入 拾錢　百粒入 貳拾錢　三百粒入 五十錢　七百粒入 壹圓

本劑は全國到る所の賣藥店に取次販賣せり

本舖 大阪市東區伏見町堺筋角 谷回春堂（電話東四五八番）（振替貯金番號八三〇）

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房 電話九〇四番一〇六八 振替口座京城十六番

入院隨意

菅醫院

京城西小門通六番戸 電話一三一五番

名譽銀牌受領

キリンビール

世界一かぜの藥

アンチピリン丸

ねつ・はやりかぜ・づつう・りうまちすに大効あり

藥價 五錢・十錢・十五錢・廿五錢

發賣元 大阪心齋橋二丁目 丹平商會

代理店 京城 新井藥房 電話九〇四番、一〇六八 振替口座京城十六番

芳澤物産屋

東京 澤庵一手發賣元

印 奈良漬製造元

京城南大門通二丁目

和洋食料品 諸罐詰瓶詰 佃煮鹽辛類 商

嶋屋

◎委托品賣買
◎新澤庵漬（十七貫詰）一樽二圓八十錢
◎地方より御注文に應じ可申候
◎相場表御入用の際は早速送附可仕候

電話九〇三番 振替口座朝鮮五七番 發電略語（シマヤ）

食パン

菓子パンアンパン各種

總督府各官衙御用

陸軍御用

各商店卸販賣

製造御小賣商 相川商店

京城太平町一丁目（電話一一八九番）

定期米株仲立業

諸公債 株 現物 賣買

西村商店 京城明治町一丁目 電話一一九七二六番

西村出張店 龍山本町三丁目 電話一二〇番

懷中良藥

消化と暑けし 仁丹

●諸君いつも仁丹を召上れ

香味、芳香優絶の仁丹は

●時候傷り水あたり●頭痛目眩卒倒●船車の暈惡醉●胸腹痛み吐下●酒煙草の味増●惡疫豫防等に……最もよくきく靈藥

朝鮮代理店 京城南大門通三丁目 新井藥

家業用 洗濯石鹼

［醫用］アイランド 浮石鹼

マップ

（其他）豚脂◎馬脂◎牛脂◎鯨油◎保革油 寄性曹達◎洋チャン◎椰子油

工業用諸油製造販賣

京城旭町二丁目 朝日石鹼製造所

電話九七三番 振替貯金番號京城四〇〇番

文房具 和洋紙 事務器械

日本政府檢定濟 度量衡器特許輸入販賣所

シノサキ本店

京城本町一丁目（郵便局前）

電話七百五番 電話長六四八番 振替口座朝鮮一五四番

米國代表車

自轉車 銃砲火藥 直輸入商

直輸入新荷着

實用堅牢車

ピアス

瀧川銃砲店自轉車部

京城明治町二丁目（電話三〇二番）

M.C.C.

土耳古紙卷 貰

エムシーシー

專賣局定價は百本に付金九圓貳拾錢なるも朝鮮內は大安賣

京城、平壤龜屋……釜山、木浦、群山高瀨支店

夜間診察は九時迄

入院隨意

六〇六號注射の需に應ず

仁川病院

電話一一六番

船來

アイボリー石鹼

愈荷着

東洋輸入元 東京 藤原京城支店

銀行一般の業務精々御便利に取扱申候

株式會社 十八銀行支店

京城黃金町（銅峴） 電話四二〇番 五八〇番

○本店 長崎市
○日本、朝鮮の各樞要地並に露領浦鹽、淸國安東縣、大連に支店、出張所又は爲替取引先有之候
○株式會社長崎貯蓄銀行京城代理店として貯蓄預金取扱申候

◎貯蓄預金

○元金百圓に付日歩一錢二厘
○一口一錢以上何程にても御預り申候

貯蓄預金受拂共精々御便利に取扱申候

眼科專門

前大韓醫院眼科部長 金井豊七

京城本町六丁目（元軍司令部通り）

金井眼科醫院

電話一五五六番

水車唐箕製造販賣

京城曙町百七番戸

土井米吉工場

電話千三百二十六番

酒精アルコール

●新荷着

坂倉支店

仁川花町一丁目（電話六五〇番）（電略サ）

效能ある溫泉

浴用効能 りようまちす、ちうふう、しんけいつう、せん、きんぴよう、しようかち、しきゆう、ひのいたみ、つきやくふぢゆん、ひせんがさ其他皮膚病一切

外用効能 きりきず、やけど、しもやけ、ただれ、あたまがさ、ちきづ、ひぜん、はのいたみ、いんてうかたる、あせぼ、まんせいできもの、いんきん、たむし、うるし

內用効能 いつう、りようまちす、せきずい、いびよう、たちだん、かつけ、しんけいたみ、病後衰弱、りんびよう、しようかち、ちゆうふう、げり、はら、しきう、酒のよひ

旅館 浴客 貸席

鐵冷溫泉

京城長谷川町一丁目韓銀建築所北横手（電話一四一二番）

◎誠ハ弊店ノ主義也

登錄商標

誠

釀造元

仁川港宮町三丁目

深見勝三郎

電話二四八番 電信略號（フ）

S.K.S

土耳古貰

エスケーエス

專賣局定價一號金六圓二號金五圓なれども朝鮮內は大安賣

特約販賣店 京城辻屋、龍山貴田、木浦沖永、馬山西川、公州中芝、平壤舘宇津木、鎭南浦

仁川 オチ商會 電話七三八（電略オチ）

齒科診療

京城本町二丁目三越呉服店前 野田齒科醫院

仁川仲町三丁目末永呉服店隣 野田齒科醫院分院

淸正釀 政宗造 正則元

酒 小賣壹升に付三十錢

清酒 味淋 燒酎 釀造元 並に日用食料品雑貨類

卸賣は特別割引可仕候

京城壽町三丁目

中井酒造場販賣部

電話百七十七番

電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候

入院隨意

京城壽町三丁目（電話三七八番）

中島醫院

院主醫學得業士 中島貞信

●うちみくじきはねつぎ●

◎家傳◎かつけ◎胃腸病◎專門灸治

京城明治町一丁目百十

荒川摩擦術療院

電話は（二五八七番）

土地建物鑛山株券賣買

一擔保及確實なる債權に對し低歩貸金す
一漢江上流に在る赤松長五六間のもの二十萬本余賣物あり
一市內適當の場所にて印刷業老舖機械附屬品全部讓り物あり
一京釜線太田驛附近の田畓（二四里以內の處）
一京仁線以西の田畓右買たし賣物あらば至急申込まれたし
一最良好の金銀銅鐵明礬山石綿山賣物あり

小林藤商店

京城明治町三丁目 電話六五五番

特約販賣

尾州半田 淸酢 中埜本家

仁川京城 髙雄支店

勿驚破格大勉强

特製 寳味噌

御料理向

味噌製造 漬物問屋

仁川本町三丁目

たからや

電話七三七番

芙江 公州 間定期出帆

芙江發毎日後一時四十分公州着後六時
公州發毎日前七時芙江着後四時
御客様の御便利の爲に新聞雜誌其他盤等の荷物の積み取扱あり
京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

キ

安東丸 天草丸 武歟丸 海利丸 成歟丸

屯串行 海州行 甕島行 海州行 大湖芝行

九月廿四日前八時 九月廿六日前五時 九月廿四日前七時 九月廿四日前三時 九月廿五日前九時

九月中 瀛船出帆廣告

合資會社 秋田商會船舶部

仁川本町四丁目

電話一七三七五〇番